

**犯罪被害者に円滑な支援を
登別市犯罪被害者等支援条例の
制定に係る協定書締結式**

7月2日、市は『登別市犯罪被害者等支援条例』の制定に伴い、室蘭警察署との連携および協力に関しての協定書を締結しました。

本条例は、被害者遺族や重傷病者に対しての見舞金、犯罪被害者の相談に応じ必要な情報の提供と助言を行うなど、犯罪被害者やその家族が安心して暮らすための内容が記されています。

協定締結を機に、市は室蘭警察署と相互に情報共有しながら円滑な被害者支援に取り組んでいきます。

7/2



▲歌人と謝野晶子などの揮毫も収められた石川脩次コレクション

**登別温泉を訪れた著名人の足跡が集う
石川脩次コレクションを市文化財に指定**

6月4日、市教育委員会は、登別国際観光コンベンション協会が所有する石川脩次コレクションを市の文化財に指定しました。同コレクションは第一滝本館の経営に関わった石川脩次氏が、大正から昭和期にかけて登別温泉を訪れた当時の政財界や軍、文学、書家、芸能などさまざまな分野の著名人528人からもらい受けた揮毫（毛筆で書かれた文字や絵など）を集めたもので、登別温泉を訪れた日付が整理されるなど、史料としての価値は高いものです。同コレクションは登別国際観光コンベンション協会に引き続き保存されています。

6/4



▲協定を締結した小笠原市長（右）と堀江室蘭警察署長（左）

消防車両受贈式

7月9日、市消防本部は、姉妹都市の神奈川県海老名市で使用されていた消防車両（ポンプ車）の寄贈にあたり、その受贈式を消防庁舎で行いました。

ポンプ車は、海老名市職員により陸送で届けられ、昼ごろに本市に到着。寄贈にあたり小林邦央海老名市消防本部参事兼消防総務課長から市長にマスコットキーが手渡され、沼田久人消防長から感謝を伝えるとともにポンプ車を大切に使うことを約束しました。今回寄贈されたポンプ車は市消防団登別分団に配備され、市の安全・安心を守るために活用されます。

7/9



▲交換した記念品を手にする小笠原市長（左）と内野優海老名市長（右）

**いつまでも変わらぬ交流を
登別市・海老名市姉妹都市提携10周年記念式典**

6月28日、登別市・海老名市姉妹都市提携10周年記念式典が神奈川県海老名市で行われ、本市からは市民ツアー参加者を含む37人が参加し、その節目を祝いました。式典には、両市の行政や議会、関係団体が参加したほか、姉妹都市交流の立会人である宮城県白石市の関係者も参加。登別・海老名両市長の祝辞、記念品の交換が行われました。また、式典後の祝賀会では、参加者が姉妹都市交流締結のきっかけとなった登別・白石・海老名3市災害援助協定から始まった縁を大切にいつまでも変わらぬ交流を続けることを約束していました。

6/28



▲寄贈されたポンプ車の前でマスコットキーが野呂力之丈消防団長に手渡されました。（左から野呂消防団長、沼田消防長、小笠原市長、小林課長）